

東京都教育委員会では



働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます

学校において、先生たちが生き生きと働きながら、一人一人の子供たちと向き合っていくことが、教育の質の向上のためには大事なことです。

そのため、東京都教育委員会では、平成30年2月に策定した「学校における働き方改革推進プラン」等に基づき、先生たちが誇りとやりがいを持って働くことができる環境づくりに積極的に取り組んでいます。

今後も、先生たちが心身共に健康な状態で子供たちの指導に当たることができるよう多様な取組を推進し、教員の負担軽減を図っていきます。

《主な取組内容》

- ◆ 各学校において、長期休業期間中等における学校閉庁日の設定や定時退庁日の取組など、メリハリのある働き方を推進していきます。
- ◆ 部活動指導員の配置を進め、専門的な技術指導や休日の大会引率等を担わせることにより、顧問の負担を軽減していきます。(令和3年度 中学校:613人、都立学校:600人)
- ◆ スクール・サポート・スタッフの配置を進め、学習プリント等の印刷作業を分担するなど、教員のサポートを強力に推進していきます。(令和3年度 小・中学校1,879人)
- ◆ スクールカウンセラー等の専門スタッフの配置を進め、「チームとしての学校」の体制を整備していきます。
- ◆ 東京都教育委員会が設立した一般財団法人東京学校支援機構 (TEPRO) が、部活動指導員等の学校が必要とする人材を紹介することなどにより、先生たちを支援していきます。 <https://www.tepro.or.jp/> 
- ◆ 自信を持って教員生活を送ることができるように、充実した研修とサポート体制を整えていきます。
- ◆ ベビーシッター (病児保育・家事代行付) 費用補助等の支援を行い、先生たちが育児と仕事の両立を図れるようにしていきます。
- ◆ 「学校における働き方改革推進プラン」について (平成30年2月公表) <https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/02/08/07.html> 
- ◆ 「令和2年度の学校における働き方改革について」 (令和3年2月公表) https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press_release/2021/release20210204_03.html 